

泌尿紀要
Acta Urol. Jpn.

ACTA UROLOGICA JAPONICA

Vol. 34, No. 12 December 1988

泌尿器科紀要

第34巻 第12号 1988年12月

【原著】

- 体外衝撃波による腎尿管結石破砕術 (Extracorporeal Shock-wave Lithotripsy: ESWL) の臨床的検討 第1報: ESWL 1,000例の治療成績東 義人...2073
- 泌尿器科悪性腫瘍における MRI の臨床的位置づけ
第1報. 前立腺癌の local stagingにおける各種画像診断の位置づけ:
MRI, CT, 経直腸の超音波検査の比較西村 一男・ほか...2083
- 泌尿器科悪性腫瘍における MRI の臨床的位置づけ
第2報. 膀胱癌の staging における各種画像診断の位置づけ
MRI, CT, 経尿道的超音波検査の比較西村 一男・ほか...2091
- 泌尿器科悪性腫瘍における MRI の臨床的位置づけ
第3報. 膀胱癌, 前立腺癌に対する MRI の新しい試み:
Surface coil と MRI 用造影剤 Gadolinium diethylamine-triaminepentaacetic acid (DTPA) の使用西村 一男・ほか...2097
- 尿路上皮癌における尿中 Tissue Polypeptide-Antigen (TPA) 濃度測定 の臨床応用大森 弘之・ほか...2101
- 表在性膀胱腫瘍に対する OK432 皮内投与の経験辻橋 宏典・ほか...2111
- 表在性膀胱腫瘍に対する遺伝子組み換えインターロイキン2の局注効果藤岡 知昭・ほか...2115
- 切除重量 100 g 以上の経尿道的前立腺切除術の検討中嶋 久雄・ほか...2121
- γ -Seminoprotein の前立腺癌血清マーカーとしての有用性杉村 芳樹・ほか...2129
- 前立腺癌血清マーカー, γ -Sm, PAP の意義渡辺 学・ほか...2135
- 前立腺癌における前立腺特異抗原測定キットの比較秋元 晋・ほか...2143

【症例】

- 副腎原発神経節芽腫の1例高橋 義人・ほか...2149
- Cushing 症候群を呈した副腎 Black Adenoma の1例藤田 良一・ほか...2155
- 多房性腎嚢胞を疑わしめた腎細胞癌の1例前田 真一・ほか...2161
- 術後肺転移像の自然退縮を認めた腎細胞癌の1例吉野 修司 和久井 守...2167
- 結石を有する機能的片腎に発生した腎盂扁平上皮癌の1例伊藤 博・ほか...2171
- 黄色肉芽腫性腎盂腎炎の1例
—その診断法としての aspiration biopsy の経験—小林 克寿・ほか...2175
- 空嚢回腸膀胱吻合術後に発生した巨大膀胱結石の1例榊原 敏彦・ほか...2181
- 子宮癌術後放射線治療を施行し長期間経過後膀胱自然破裂を来した1例石井 徳味・ほか...2185
- 前立腺特異抗原 γ -Seminoprotein (γ -Sm) が異常高値を示した
前立腺肥大症の2例浅川 正純・ほか...2189
- 透明中隔の神経膠腫に続発したゴナドトロピン単独欠損の1例北村 雅哉・ほか...2193
- 精索に発生した線維性偽腫瘍 (Fibrous pseudotumor) の1例近藤 宣幸・ほか...2197
- 出血をきたした精巣鞘膜腔内嚢胞の1例平野 章治・ほか...2201

【統計】

- 泌尿器科単独標榜病院の15年の歩み
—原泌尿器科病院における手術統計 (1971~1986年) —原 信二・大前 博志...2205
- 三樹会病院における臨床統計 (第8報) —1987年度外来新患統計—丹田 均・ほか...2213

【治験】

- 非イオン性低浸透圧造影剤イオバミロン® による静脈性尿路造影
—高齢者における検討—田中 寛・ほか...2219
- 複雑性尿路感染症に対する Aztreonam の使用経験吉田謙一郎・ほか...2225
- 複雑性尿路感染症に対する Enoxacin の使用経験富樫 正樹・ほか...2233
- 尿路不定愁訴に対する猪苓湯, 猪苓湯四物湯合の効果堀井 明範・前川 正信...2237
- 腎下垂に対する補中益気湯の臨床的效果について堀井 明範・前川 正信...2243
- 泌尿器科紀要第34巻 総目次・物件索引・人名索引 i~xxxxxxxxviii

購読要項 (1986年1月改訂)

1. 発行は毎月、年12回とし、年間購読者を会員とする。
2. 会員は年間予約購読料 8,000 円 (送料とも) を前納する。払込みは振替に限る。口座番号 京都 5-4772番 泌尿器科紀要編集部宛。
3. 入会は氏名、住所を記入のうえ編集部宛、はがきにて申し込めば所定の用紙を送付します。

投稿規定 (1988年1月改訂)

1. 投稿：連名者を含めて会員に限る。
 2. 原稿：泌尿器科学領域の全般にわたり、総説、原著、症例報告、臨床統計、そのほかで和文または英文とする。
 - (1) 総説、原著論文、臨床統計、そのほかの普通論文の長さは、原則として、刷り上がり本文 5 頁 (400 字 × 20 枚)、図 (Fig.) 10 枚、表 (Table) 10 枚までとする。
 - (2) 症例報告の長さは、原則として、刷り上がり本文 3 頁 (400 字 × 12 枚)、図 (Fig.) 5 枚、表 (Table) 3 枚までとする。
 - (3) 和文原稿は B 5 版 400 字詰原稿用紙横書き、楷書、当用漢字、現代かなづかい、平がなし、清書する。年号は西暦とする。文中欧米語の固有名詞は大文字で、普通名詞は小文字で始め (ただし、文節の始めに来る場合は大文字)、タイプで明瞭に記載する。
ワープロを使用する場合も B 5 版原稿用紙に 1 枚 20 × 20 字とする。
 - (4) 原稿の表紙に標題、所属機関名、主任名 (教授、部長、院長、科長、医長など)、著者名の順に和文で記載する。下段に筆頭者名と、2 語からなる running title を付記する。
例：山田、ほか：前立腺癌・PSAP
 - (5) 英文抄録：和文の表紙、本文とは別に標題、著者名、所属機関名、主任名、5 語 (英文) 以内の Key words、抄録本文の順に B 5 版ダブルスペースでタイプし、別にその和訳をつける。ワープロ原稿可。
 - (6) 英文原稿は A 4 版原稿用紙にダブルスペースでタイプし、原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名、主任名、key words (和文に準ず)、running title (和文に準ず) の順にタイプし、別に標題、著者名、所属機関名、主任名、抄録本文の順に記した和文を付記する。
 - (7) 数字はすべて算用数字を使用し、単位は m, cm, mm, l, ml, kg, g, mg, μg, %, °C などとする。
 - (8) 和文、英文原稿を問わず図、表、写真などはそれぞれ台紙に貼付し、それらに対する説明文は別紙に一括して Fig. 1. ..., Fig. 2. ..., Table 1. ..., Table 2. ... などと一覧表にする。説明文は英文を原則とする。原稿右欄外に挿入さるべき位置を明示する。写真はトリミングし、図・表は誤りのないことを十分確認のうえ、トレースして紙焼したものが望ましい (コピー不可)。様式については本誌の図・表を参照する。写真は明瞭なものに限り、必要なら矢印 (直接写真に貼付) などを入れ、わかりやすくする。
 - (9) 引用文献は必要最小限にとどめ、引用箇所を本文の文脈順に入れる (アルファベット順不可)。その数は 30 までが望ましい。和文は楷書で、欧文 (ワープロ可) はダブルスペースでタイプする。
例：山田^{1,3,7)}、田中ら^{8,11-13)}によると...
- 雑誌の場合—著者名 (全員)：標題。雑誌名 巻：最初頁-最終頁、発行年
- 例 1) Finney RP, Sharpe JR and Sadlowski RW: Finney hinged penile implant: experience with 100 cases. J Urol 124: 205-207, 1980
- 例 2) 竹内秀雄, 上田 眞, 野々村光生, 飛田収一, 大石賢二, 東 義人, 岡田裕作, 川村寿一, 吉田修: 経皮的腎砕石術 (PNL) および経尿道的尿管砕石術 (TUL) にみられる発熱について。泌尿器科紀要 33: 1357-1363, 1987
- 単行本の場合—著者名 (全員)：標題。書名, 編集者名, 版数, 巻数, 引用頁, 発行所, 出版地, 発行年
- 例 3) Robertson WG, Knowles F and Peacock M: Urinary mucopolysaccharide inhibitors of calcium oxalate crystallization. In: Urolithiasis Research. Edited by Fleisch H, Robertson WG, Smith LH and Vahlensieck W. 1st ed., pp.331-334, Plenum Press, London, 1976

例4) 大保亮一: 腫瘍病理学. ベッドサイド泌尿器科学, 診断・治療編. 吉田 修編, 第1版, pp. 259-301, 南江堂, 東京, 1986

- (8) 原稿を返却しないのでコピーを手元に残し, オリジナルを書留で送付する.
(原稿送付先)

〒606 京都市左京区聖護院山王町18
メタボ岡崎 301号
泌尿器科紀要刊行会宛

- (9) 論文の採否: 論文の採否は編集委員で決定し, 連絡する.
(10) 論文の加筆訂正: 審査の結果, 編集方針にしたがって原稿の加筆, 削除, および一部分の書き直しをお願いすることがある. また, 編集委員の責任において多少字句の訂正をすることがある.
(11) 校正は初校を著者による責任校正とし, 再校以降は編集部が行う. 著者複数の場合は校正責任者を投稿時指定する.
(12) 投稿にあたっては, 本誌を十分参考にして体裁を守ること.
3. 掲載
- (1) 論文の掲載は採用順を原則とする.
迅速掲載には迅速掲載料を要する. 5頁以内は30,000円, 6頁以上は1頁毎に10,000円を加算したものを申し受ける.
(2) 掲載料は1頁につき和文は5,500円, 英文は6,500円, 超過頁は1頁につき7,000円. 写真代, 凸版, トレース代, 別冊, 送料などは別に実費を申し受ける.
(3) 薬剤の効果, 測定試薬の成績, 治療器械の使用などに関する研究論文(治験論文)については, 掲載料を別途に申し受ける.
4. 別冊: 実費負担とし, 著者校正時に部数を指定する.

Information for Authors Submitting Papers in English

1. Manuscripts should be typed double-spaced with wide margins on 8.5 by 11 inch paper. The text of all regular manuscripts should not exceed 12 typewritten pages, and that of a case report 6 pages. The abstract should not exceed 250 words and should contain no abbreviations.
2. The first page should contain the title, full names and affiliations of the authors, the director's name, key words (less than 5 words), and a running title consisting of the first author and two words.
e.g.: Yamada, et al.: Prostatic cancer・PSAP
3. The list of references should include only those publications which are cited in the text. References should not exceed 30 readily available citations. Reference should be in the form of superscript numerals and should not be arranged alphabetically.
4. The title, the names and affiliations of the authors, the director's name, and an abstract should be provided in Japanese.
5. For further details refer to a recent journal.

編集委員: 吉田 修(委員長) 石神 襄次 前川 正信 宮崎 重
新谷 浩 園田 孝夫 友吉 唯夫

泌尿器科紀要 第34巻 第12号 1988年12月25日 印刷 1988年12月31日 発行
発行 吉田 修 顧問 加藤 篤二 発行所 泌尿器科紀要刊行会
〒606 京都市左京区聖護院山王町18 メタボ岡崎 301号 電話 (075) 752-0100
FAX (075) 752-0190
印刷所 山代印刷株式会社 京都市上京区寺之内通小川西入
